

6-2 基本方針2 高齢者の健康づくりと介護予防の充実
(3)生活支援サービスの充実・強化

掲載ページ	78	事務事業名	介護用品支給サービス事業(紙おむつ等の支給)		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	市民税非課税世帯で、要介護4または5に相当する高齢者を主に介護している家族に紙おむつ等を支給する。					
事業の目的	要介護高齢者を介護する家族等の支援。					
評価の指標	利用件数:各年度600件					
27年度	目標値	600	評点	S	評価	第5期計画から毎年度、利用件数が増加しており、ニーズが高い。介護認定結果への案内の同封等により、周知を図り、利用登録者に適切にサービスを実施した。
	実績	653			今後の取組	介護用品の支給により介護者(家族等)の負担軽減を図る。サービスが必要な人に適切にサービスが行き届くよう周知する。

掲載ページ	78	事務事業名	緊急通報装置貸与事業		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	一人暮らし高齢者等で、現病歴・既往歴等により日常生活に注意を要する方に対して、緊急通報装置を貸与する。受信センターからの定期的な安否確認電話により、受報・発報の両面から見守りを行う。					
事業の目的	単身高齢者等の在宅生活の支援。					
評価の指標	貸与台数:各年度320台					
27年度	目標値	320	評点	A	評価	貸与台数は目標値に達しなかったが、新規申請に対しては速やかに訪問調査を行い、利用の可否を決定するとともに継続利用者に対しては受報・発報の両面から安否確認体制を整え、高齢者の在宅生活を支援した。
	実績	254			今後の取組	緊急通報装置の貸与により、単身高齢者等の在宅生活を支援する。サービスが必要な人に適切にサービスが行き届くよう周知する。

掲載ページ	78	事務事業名	給食サービス事業		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	老衰、心身の障害または疾病等の理由で炊事が困難な高齢者に対して、昼食または夕食を配食するとともに、直接手渡しによる安否確認を行う。					
事業の目的	単身高齢者等の在宅生活の支援。					
評価の指標	配食数:各年度14,000食					
27年度	目標値	14,000	評点	A	評価	利用者に対しては、安否確認に重点を置き、適切にサービスを実施したが、民間事業者が多数参入する中、実施手法は非効率的であった。
	実績	9,514			今後の取組	事業は廃止の方向とし、現利用者のサービスの引き継ぎ方法を検討する。

掲載ページ	78	事務事業名	寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	寝たきり高齢者や認知症高齢者で失禁のある方に対して、月に1回、寝具類の乾燥、若しくは、丸洗いを実施する。					
事業の目的	単身高齢者等の在宅生活の支援。					
評価の指標	利用件数:各年度240件					
27年度	目標値	240	評点	A	評価	第5期計画から毎年度、利用登録者が増加しており、ニーズが高い。介護認定結果への案内の同封等により、周知を図り、利用登録者に適切にサービスを実施した。
	実績	186			今後の取組	寝具乾燥・寝具丸洗いの実施により、単身高齢者等の在宅生活を支援する。サービスが必要な人に適切にサービスが行き届くよう周知する。

掲載ページ	78	事務事業名	保健師等による介護認定非該当者への訪問		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	介護認定の結果、非該当となった高齢者を保健師等が訪問し、介護、健康、生活上の困りごと等の相談を受け、各種生活支援等のサービス利用や地域活動につなげる。					
事業の目的	介護認定の結果、非該当となった高齢者を保健師等が訪問し、必要な支援を行う。					
評価の指標	訪問・電話等によるフォロー件数 年度100件					
27年度	目標値	100件	評点	C	評価	目標値は下回っているが、訪問等により高齢者のニーズや健康状態を確認し必要な支援を行うことができた。
	実績	59件			今後の取組	引き続き非該当となった方に対して保健師等が訪問等によりフォローを行う。

掲載ページ	79	事務事業名	マイライフ(エンディング)ノート活用事業		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	人生を振り返り人生の最終章に向け、これからの生き方・過ごし方や最期の迎え方等について、自身の思いや希望などを書き留めておくマイライフ(エンディング)ノートを作成し、関係機関等に配架、ホームページ等での掲載を行う。					
事業の目的	これからの生き方・過ごし方等について高齢者等の意思を表明できるノートを作成する。					
評価の指標	配架冊数 28年度700冊					
27年度	目標値	なし	評点	Z	評価	
	実績	なし			今後の取組	28年度にマイライフ(エンディング)ノートを作成し、配架を始める。

掲載ページ	79	事務事業名	安心まごころ収集		担当課	環境事業センター
事業の概要	ごみや資源物を指定の集積場所まで持ち出すことが困難な世帯を対象に、戸別収集を行います。利用者世帯を専用の車両で戸別訪問し、声かけをしてごみを収集することで、安否確認を同時に行う。					
事業の目的	高齢者世帯等のごみ排出の負担を軽減し、在宅生活の継続支援を図る。					
評価の指標	利用世帯数					
27年度	目標値	290世帯	評点	S	評価	本事業につきましては、平成27年度末で、利用者世帯が 285世帯となっております。ごみと資源物の戸別収集及び顔合わせや声かけによる安否確認は適切に実施できている。
	実績	285世帯 (98.3%)			今後の取組	超高齢社会という本市の現状に対応するべく、事業体制の強化(増員増車等)を図っていく。

掲載ページ	79	事務事業名	配食サービス		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	在宅のすこやか支援プログラム対象者が健康で自立した生活を送ることができるよう、配食サービスを、「食」の自立の観点から十分なアセスメントを行った上で計画的・有機的につなげて提供する。					
事業の目的	食の自立を目指した配食サービスを行う。					
27年度	評価	対象者がおらず実施していない。				
	今後の取組	継続する。29年度以降のあり方を検討する。				
	進捗状況	⑤未実施				

掲載ページ	79	事務事業名	生活支援サービス・介護予防基盤整備事業		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	生活支援サービスを実施しているNPO法人、民間企業、ボランティアなどの担い手が互いに連携・協力できるようネットワークを構築する。					
事業の目的	高齢者が住み慣れた地域に住み続けることができるためのサービス提供体制を整備する。					
27年度	評価	事業について検討した。				
	今後の取組	協議体の設置、コーディネーターの配置を検討する。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				

掲載ページ	79	事務事業名	在日外国人高齢者・障害者等福祉給付金支給事業	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	年金を受給できない外国籍高齢者に給付金を支給する				
事業の目的	国籍要件等で無年金となっている在日外国人高齢者・障害者の福祉の向上を図るため				
27年度	評価	外国籍を有する高齢者・障害者等の方々に、国民年金を受けるために必要な要件を制度上満たすことができない人のために福祉給付金を支給した。			
	今後の取組	引き続き、外国籍の高齢者の自立を支援するため、住み慣れた家でできるだけ元気にいつまでも安心して生活できるように支援していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			